

2013年度第5回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日 時： 2014年（平成26年）3月26日（水）16：20～17：20

場 所： 2-1701

出席者： 計 83名

欠席者： 計 41名

当日配付資料：

前回議事記録（2014年1月22日開催）

1. 検討専門委員会の委員構成案
2. 意見書

議 事

審議に先立ち、事務局より、配付資料の確認を行った。

1. 検討専門委員会の委員構成案について

理事長から配布資料に基づき、2014年4月1日からの検討専門委員会の委員構成案について、一部検討中のものもあるが、配布資料のとおり定められている旨説明があった。

2. キャンパス計画について

理事長から本議案の発議に関する説明があり、引き続き、財務担当理事から投映資料に基づき、キャンパス計画の進捗状況ならびに、全体スケジュールについて説明があった。

3. 上智大学国際研究所(仮称)の設置について

理事長から本議案の発議に関する説明があり、引き続き、総務担当理事から投映資料に基づき、上智大学国際研究所(仮称)を附置研究所として設置する旨説明があり、仮称となっている研究所の名称について意見をいただきたい旨、併せて要請があった。なお、その後、既存の研究所との関係性や教員の関与の可能性等について質疑応答があり、広く学内の意見を聴取した上で設置計画をすすめて欲しい旨要請があった。

4. 人事計画等検討専門委員会の検討状況について

理事長から本議案の発議に関する説明があり、引き続き、人事担当理事（人事計画等検討専門委員会委員長）から投映資料に基づき、「グランド・レイアウト2.0」に掲げられた重点目標のうち、教学系組織の再編と教員・教学組織評価制度の導入について、人事計画等検討専門委員会での検討状況の報告があり、その後、質疑応答があった。

質疑応答の主な内容は以下のとおり

- ・資料として提示された一般入試歩留率の推移について、単に歩留率のみを比較するのではなく、入試制度の変更点等の背景も考慮した上で資料を作成すべきではないか。
- ・研究所は効率的運営を目指し費用削減等を行っているが、学院からの研究費以外に資金獲得することは困難である。大学が必要性を判断して設置していることを勘案すべきではないか。
- ・教員評価制度導入の他大学での実績や有用性、ならびに問題点等について検証すべきではないか。

5. 次回の長期計画企画拡大会議について

次回は、2014年5月28日(水)の午後4時から、2-1701会議室で行うこととし、詳細は追って通知することを確認した。また、理事長より、「グランド・レイアウト2.0」の課題について、各検討専門委員会において短期、中・長期それぞれの課題を検討して洗い出し、推進の手順をつけた上で、次回の会議で中間発表するよう要請があった。

以上